

平成28年度 北理研理科総合部会「授業方法に関する研修会」報告書

○ 第1回「フィンランドの理科教育」

- 1 日 時 平成28年 5月28日(土)
14:00~15:30 講演
15:30~16:20 質疑応答・事例紹介
- 2 講 師 北海道大学 高等教育推進機構 高等教育研究部 高等教育研究部門
准教授 池田 文人 先生
- 3 会 場 札幌北高等学校 2階 地学教室
- 4 概 要 OECDが3年に一度実施する国際学力到達度調査(PISA)で、かつてフィンランドは学力世界一と言われていました。現在では韓国などのPISAへ対応した国々に抜かれています。その教育の本質である「子どもたちの自立」という目標にぶれはありません。そんなフィンランドの教育から何が学べるのか、日本の教育と何がちがうのかなどのお話をさせていただきました。そしてその背景になるフィンランドの歴史や文化、自然についても教えていただきました。

また、フィンランドの教員の仕事や教員養成課程、学校のしくみ、教科書や進学状況についてなどのお話もしてくださり、そちらもとても興味深いものでした。

個人的にはフィンランドと日本の教材や実験の選び方や意味の違いが一番興味深く、「Not familiar」という言葉がとても印象的でした。どんな実験をさせて生徒に何を学ばせるのか、何のために実験をするのかなどを改めて考えさせられました。



昨年からの池田先生のご講演も3回目になりました。今回は他の例会等と日程が重なってしまいましたが、17名の大学・高校関係の方々にご参加くださいました。フィンランドの教育を紹介していただき、日本の教育と比較する機会になったことでいろいろなことに気付かされ、そして多くのことを考えさせられました。さいごに、講師の池田先生や会場校の札幌北高校の先生方をはじめ、ご参加、ご協力下さった皆様、本当にありがとうございました。